

第7期豊川市障害福祉支援計画等策定のための 事業所アンケート調査へのご協力をお願い

各事業所の皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。豊川市では現在、令和6年度を初年度とする「第7期障害福祉支援計画 第3期障害児福祉支援計画」の策定に向けた取り組みを進めています。

この調査シートは、計画の策定にあたって、各事業所の今後の障害福祉サービス・地域生活支援事業・障害児通所支援に関する事業計画をお伺いし、豊川市のサービス見込み量を算出するための基礎資料とさせていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年6月 豊川市長 竹本 幸夫

<記入にあたっての注意点>

- ・本調査は原則、宛名の事業所単位で作成してください。
- ・質問への回答方法は、それぞれ質問文に記載していますので、質問文をよく読んでお答えください。
- ・記入が終わりましたら、6月28日（水）までに同封の返信用封筒を使ってご返送ください。
- ・本調査は、インターネットでも回答できます。パソコン、スマートフォン、タブレットのいずれかを用いて、次のURLまたは二次元バーコードからアクセスし、画面の案内に従って下記のID、パスワードを入力し、質問項目にお答えください。

(URL) <https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=TYK-140>



- ・このアンケート調査へのご質問などは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

豊川市役所 福祉部 障害福祉課 (担当：松田、大橋)

電話：0533-89-2159 FAX：0533-89-2137

2. 貴事業所の運営状況について

問3 現在、実施しているサービスの種類の番号に○をつけ、定員数、利用者数をご記入ください。

障害福祉サービス等	現在の提供状況		
	定員数	利用者数	うち、豊川市民
1. 居宅介護			
2. 重度訪問介護			
3. 同行援護			
4. 行動援護			
5. 移動支援			
6. 日中一時支援			
7. 生活介護			
8. 自立訓練（生活訓練）			
9. 自立訓練（機能訓練）			
10. 就労移行支援			
11. 就労継続支援A型			
12. 就労継続支援B型			
13. 就労定着支援			
14. 自立生活援助			
15. 児童発達支援			
16. 放課後等デイサービス			
17. 保育所等訪問支援			
18. 居宅訪問型児童発達支援			
19. 短期入所（ショートステイ）			
20. 共同生活援助（グループホーム）			
21. 施設入所支援			
22. 地域活動支援センター			
23. その他（ ）			

問4 今後（令和5年7月以降）、「新たに実施を予定しているサービスをご記入ください。（サービス名は問3の事業名からお選びください。）

サービス名 （ ）	予定する定員数 （ ）
サービスの提供開始時期（ ）年（ ）月予定	
サービス名 （ ）	予定する定員数 （ ）
サービスの提供開始時期（ ）年（ ）月予定	

問5 貴施設・事業所では、今後サービス利用を希望する人数がどのように変化すると見込んでいますか。(○は1つだけ)

1. 増加すると見込んでいる
2. 横ばいであると見込んでいる
3. 減少すると見込んでいる
4. わからない

問6 貴施設・事業所の職員について、退職者の退職理由は何でしたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 給料の問題
2. 労働条件(残業代・休日出勤の増加・休みが取れないなど)
3. 身体的に体調を崩した
4. 精神的に体調を崩した
5. 家族などの事情
6. 職場の人間関係
7. 他職種への転職
8. 定年退職
9. その他(具体的に：)

問7 貴施設・事業所の経営上の課題にはどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 事業単価が低く経営が困難
2. 施設整備などの資金繰りが困難
3. 職員の給与の据え置きが続いている
4. 労働条件などにより職員の退職がある
5. 従事者の人員確保が困難
6. 職員の研修、育成を行う時間が少ない
7. 事務量が増大している
8. サービス内容や質の安定、向上を図ることが困難
9. 利用者の退所や利用抑制がある
10. 工賃確保のための事業拡大・新規事業の立ち上げ
11. 市民、近隣住民の理解を得るのに苦労している
12. その他()
13. 特にない

問8 サービスの質の向上のためにどのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. サービス提供のガイドラインの作成
2. 相談窓口の設置
3. 利用者や家族に対しての満足度調査の実施
4. 積極的な外部評価の実施 (ISO、第三者評価等)
5. 権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルの作成
6. 他の事業者との情報交換の実施
7. ボランティア団体の受け入れ
8. 特にない
9. その他 ()

問9 今後の事業運営にあたって、どのような支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 財政面での支援
2. 必要な人材の確保への協力
3. 職員の研修、職業訓練への支援
4. 行政との情報共有
5. 事業運営に必要な情報提供
6. 障害者福祉に対する市民理解を得るための周知、啓発
7. その他 ()

3. サービスの利用状況について

問10 利用者やその家族からあげられる苦情や相談はどのようなものが多いですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. サービス内容に関するもの | 5. 費用負担に関するもの |
| 2. 利用手続きに関するもの | 6. 介助者・家族からの虐待など |
| 3. 職員の態度に関するもの | 7. 特にない |
| 4. 施設・設備に関するもの | 8. その他 () |

問11 豊川市全体をみたときに、不足していると思われるサービスや支援はどのようなものでしょうか。

問17 地域における住民、団体、ボランティア等との関わりについて、①どのようなことを行っていますか。②また、これから行えることはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

項目	①行っていること	②これから行えること
1. 住民向けの勉強会、講演等の開催	1	1
2. イベントの開催等による地域住民との交流	2	2
3. 住民やボランティアと合同での事業の実施	3	3
4. 住民、学生等のボランティアや実習生の受け入れ	4	4
5. 地域の会議体への参加によるネットワークづくり	5	5
6. 車両の空き等を活かした移動支援等の活動	6	6
7. 事業所内の空きスペースを活用した居場所づくり	7	7
8. 地域の高齢者等を対象とした昼食会や配食サービス	8	8
9. 地域の子育て世帯等に対する相談、子育て講座	9	9
10. 地域行事への参加	10	10
11. 住民、ボランティアとの情報交換	11	11
12. 地域の防災訓練への参加	12	12
13. 寄付金等の金銭的な支援	13	13

6. 入所施設について

※入所施設を運営している事業所のみお答えください。

問18 貴事業所に入所されている豊川市の方が3年後希望する生活について教えてください。（数字を記入）

豊川市の方の 現入所者数 合計	左のうち3年後希望する生活の場ごとの人数					
	家族と 自宅生活	一人 暮らし	グループ ホーム	他の施設 に入所	今の施設 に入所	不明

問19 貴事業所に入所されている、豊川市の方のうち、地域生活への移行が見込める方的人数をご記入ください。（現時点の予測でもかまいません）（数字を記入）

合計	地域生活への移行が見込める人数			
	家族と自宅生活	一人暮らし	グループホーム	不明

問20 貴事業所において、入所者の地域生活への移行を進めていく上で、障壁となっていること、また課題となっていることについてご意見をお聞かせください。

7. 地域生活支援拠点について

問21 地域生活支援拠点等の整備とは何か知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問22 豊川市の実情を考えた時に「緊急時の在宅における支援の必要性について」どのように考えられますか。(○は1つ)

1. 整備すべき	3. どちらかと言えば整備すべき
2. どちらかといえば整備すべき	4. 不要

問23 問22の選択肢を選んだ理由をお聞かせください。

問24 貴事業所において緊急時のサービス提供は可能ですか。(○は1つ)

1. 可能である		
2. 条件が整えば可能である	—————▶	問25へ
3. 不可能である	—————▶	問26へ

【問24で「2. 条件が整えば可能である」と答えた方にお聞きします。】

問25 どのような条件が整えば可能であるか、お答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 当該ケースについて、平常時からのあらかじめの情報取得
2. 当該ケースについて、緊急時直後の情報取得
3. 事業所単独の対応ではなく、市や相談支援事業所等、相談・連携できる相手がいる
4. 事前あるいはその場で利用の了解が得られる仕組み
5. 休日連絡を受けられる体制
6. 24時間連絡を受けられる体制
7. ヘルパーの確保
8. 緊急時対応についての十分な加算
9. その他（)

【問24で「3. 不可能である」と答えた方にお聞きします。】

問26 その理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 当該ケースの情報がない中で、突然支援には入れない
2. 市や相談支援事業所といった相談・連携できる相手がない中で、事業所単独では支援できない
3. 休日連絡を受けられる体制がない
4. 24時間連絡を受けられる体制がない
5. 緊急時に対応できるヘルパーがいない
6. その他（)

8. 今後の障害者施策について

問27 障害のある人を取り巻く現状や身近で感じている課題、豊川市に希望することなどについて、自由にお書きください。

※すべてにご記入いただく必要はありません。特に気になるところについてお書きください。

①保健・医療について
(健診、相談・訪問指導、障害の早期発見や療育、医療機関・医療体制について など)
②生活環境の整備について
(施設・情報のバリアフリーについて、移動手段について、防犯・防災について など)
③相談・情報提供について
(相談体制、情報提供体制、民生委員等地域における支援体制、地域ネットワーク など)
④住まい・住宅の確保について
(公共賃貸住宅の利用、自宅のバリアフリー化、グループホーム など)
⑤雇用・就労について
(雇用・就労の促進について、地域の中の働く場の創造について、福祉的就労について など)
⑥災害時の支援について
(避難方法について、避難所について、発災後のサービス利用について など)

<p>⑦障害への理解と交流について</p> <p>(障害への理解促進について、地域の交流・ふれあいについて、ボランティアについて など)</p>
<p>⑧教育・保育について</p> <p>(保育、放課後児童対策、特別支援教育、就学・進路指導の充実について など)</p>
<p>⑨生涯学習活動について</p> <p>(生涯学習、スポーツ・レクリエーションへの参加促進、文化・芸術活動の推進について など)</p>
<p>⑩その他（自由意見）</p>

同封の返信用封筒に入れ、
6月28日（水）までにご返送ください。（切手不要）